

令和6年度 1学期始業式 校長講話

新しい学年、新しい学級で令和6年度がスタートしました。

新しい環境でのスタートは、これからのさまざまな楽しいことや嬉しいことへの期待と、これからのさまざまな上手くいかないことや思い通りにならないことへの不安で、気持ちが落ち着かないことだと思います。順調に軌道に乗って、少しでも早く気持ちが落ち着くといいですね。みなさんに楽しいことや嬉しいことがたくさんありますように。みなさんが上手くいかないことや思い通りにならないことをしっかりと乗り越えていけますように。そう願っています。

さて、楽しいことや嬉しいことがたくさんあればいいな、また、上手くいかないことや思い通りにいかないことをしっかりと乗り越えていけたらいいな――つまり、良い方向に進んでいけたらいいなとは、誰もが思うはずですが、みなさんは、そのためにどのようなことが大事だと思いますか。どのような意識をもって毎日をすごしていけばいいと思いますか。

これは先日の1年生の入学式で話したことなのですが、校長先生がそのために大事だと思いつづけていることは、「努力」と「優しさ」の2つです。「頑張る人」でいて「優しい人」でいることです。簡単そうにきこえるけど、実は意識しないと継続できないことでもあると思います。その2つの中でも特に「優しさ」。仲間や先生や家族を理解して大切にすること。これはとりわけ大事なことだと思います。

みなさんは「努力」を大事にして続けていますか。みなさんは「頑張る人」ですか。

みなさんは「優しさ」を大事にして続けていますか。みなさんは「優しい人」ですか。みなさんはちゃんと仲間や先生や家族を理解して大切にしていますか。これからもいろいろな機会にいろいろな言葉でみなさんに問いかけてみたいと思います。

では、今日は短いですが、これだけにします。新しいスタートの時に伝えておきたいと思ったことを伝えました。ほんとうに楽しいことや嬉しいことがたくさんあればいいなと思います。上手くいかないことや思い通りにならないことをしっかりと乗り越えていけばいいなと思います。そんな素敵な淀中学校でありますように。